



奥ノ木信夫 川口市長

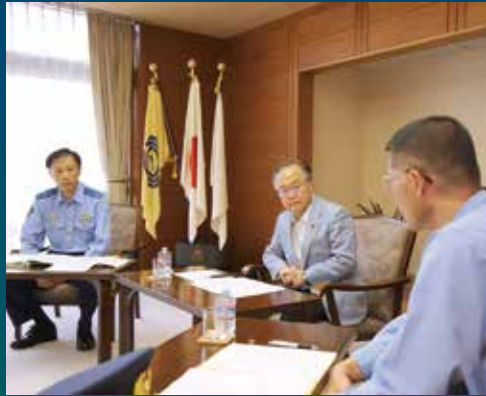
川口市では、市政に対する「市民意識調査」を毎年実施しています。この調査で川口市の良いところとして、「治安が悪い」が毎回1位となっております。しかし、本市の刑法犯認知件数はピーク時（平成16年）の1/3となっており、当時のイメージが根強く残っているのではないのでしょうか。これを払拭するため、川口・武南両警察署長と市長が、本市の安全・安心をテーマに会談を行いました。

### 治安は確実に良くなっている

**市長** 川口・武南両警察署の皆様には、日ごろより本市の安全・安心のため、日夜ご尽力いただきありがとうございます。本日は、ぜひ忌憚のない意見交換をお願いします。まずは管内の治安状況について教えてください。

**川口署長** 管内の刑法犯認知件数は、8月末現在で昨年と比べ約4%下がり、減少傾向が続いています。特に万引きや自転車盗は大きく減少していますが、特殊詐欺などが増加しています。

**武南署長** 管内の認知件数は昨年と比



### 防犯カメラ約500台設置！

**市長** 本市では、市内各駅を中心に100台の防犯カメラを設置しました。

また、町会・自治会での設置に対する補助金制度を創設し、昨年度までに約400台設置していただきました。市民の皆さんからも「見守られている安心感がある」との評価を得ています。

また、「見せる防犯」として、公用車を青パト化し、市職員による防犯パトロールを推進しています。現在は60

### 市民・警察・行政の連携

**市長** 刑法犯認知件数のピークだった平成16年当時から現在まで減少したのは、そのような取り組みの成果と言えるでしょうか。

**川口署長** 当時と比較するとひたたくりが1/20、住居侵入は1/9に減少しています。ここまで減少させることができたのは警察だけではなく、町会・自治会をはじめとする市民の自主パトロールや、市の各種取り組みなど、

それぞれが連携・協力した成果です。

**武南署長** 管内の刑法犯認知件数は、平成16年当時の6千53件から昨年は1千891件と1/3まで減少しています。武南署管内では自動車盗も234件から21件と9割減少しています。しかし一方で特殊詐欺のような新たな脅威も発生しています。これからも三者が連携を維持・強化していく必要があります。

### 更なる安全・安心なまちづくりに向けて

緊急でない困りごとや警察への要望を受け付けます  
けいさつ総合相談センター  
#9110

**川口署長** 数字上では犯罪が減少していますが、全国的に増加している特殊詐欺や、女性・子どもが被害者となる犯罪の発生により、体感として、治安に不安を感じているかたも多くなります。

**武南署長** 管内は郊外部が多く、また自然も多く残っているため、人目が届きにくい場所がまだまだあります。これらの場所での不審者の出没など、不安を感じているかたもいます。

### 内閣総理大臣賞を受賞

**川口署長** 先ほど市民・行政・警察の三者による連携・協力が大事だと言

# うなの？ 川口の治安

## 長と市長が会談 くなっています！

べ3.1%減少しました。特に強盗やひったくりなどの重要犯罪は大幅に減少しています。

## 防犯対策の重点項目

**市長** それらの状況を踏まえた、重点的な取り組みを教えてください。

**川口署長** 自転車盗・女性と子どもの安全確保・特殊詐欺の三点で、自転車盗については、川口市立高校・川口工業高校と覚書を結び、若者の知恵を借りて防犯対策に取り組んでいます。また、特殊詐欺については、被害に遭わせない対策として駅頭での警戒・声掛け、予兆電話のあった地域への捜査員の投入などを実施しています。

**武南署長** 川口署と同じ三点について重点的に取り組んでいます。中でも自転車盗については発生分析に注力し、繰り返し行っていたプロの窃盗犯を檢舉したことで、以降は大幅に改善しました。また、女性と子どもの安全確保については、不審者情報に伴う警戒と、学校や関係機関への情報発信により未然防止に努めています。

台で、来年度は目標の100台を目指します。

さらに、約3万5千基の道路照明灯設置や、町会・自治会などによる自主防犯活動への補助事業を実施しています。



防犯カメラ



青パト

川口市 刑法犯認知件数の推移



作田隆志 川口警察署長



# ホントはど

## 川口・武南両警察署 治安は確実に良

### 防犯特集



ましたが、実はこのたび、前川本町町の自主防犯活動が「令和元年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。まさに地道な活動を続けてきた成果です。

**市長** それはうれしい報告ですね。改めて犯罪を抑止し治安を維持・向上させるには、市民・警察・行政の日ごろからの協力体制が不可欠ということを再確認しました。また、防犯カメラに関しては、補助の継続や公共空間への更なる設置を検討していきたいと思えます。そして、今日のお話から、特殊詐欺などの新たな脅威はあるものの、治安はかなり良くなっていることが分かりました。これからも一致団結して安全・安心なまちづくりを推進していきましょう。



前川本町町会の皆さん

坂本雅彦 武南警察署長



問い合わせ…防犯対策室 ☎048-242-6361 FAX048-281-5765